価値創造の軌跡

ヨコオグループは、創業者である横尾忠太郎が職人時代に培った精密金属パイプ加工から始まり、それを起点とする微細精密加工技術を軸にさまざまな新技術を導入し、幅広い分野に事業を展開してきました。創業者が生まれ育った群馬県北甘楽郡富岡町（現 富岡市）を開発・生産の中心に据え、海外に拠点を広げながら、グローバル市場に向けて最先端の製品を開発・提供しています。

ヨコオの歩み

1920年頃

ヨコオの前身、横尾製作所の創業者横尾忠太郎は、懐中時計の蝶番に使われる精密パイプの加工職人として腕を磨きました。

1922年

創業（東京都墨田区）

横尾忠太郎（1894～1977）が修行元から独立を決意し、翌23年に自転車屋「誠輪舎」を開業します。開業当日に関東大震災が発生して店舗を失いましたが、わずか1カ月後には営業を再開しました。1926年には、職人として15年間培った技術を生かし、東京の向島に精密パイプ加工工場を開業します。こうして、株式会社ヨコオの前身、横尾製作所が本格的にスタートしました。

横尾忠太郎

自転車屋「誠輪舎」店舗前にて

1930年頃

腕時計用のバネ棒を開発
当時世界一のシェアに

両端が伸縮するベルト取付部品「バネ棒」を、横尾忠太郎が発明します。この画期的な発明品は海外でも広く使われるようになり、世界一のシェアを獲得。今につながる「技術のヨコオ」の原点となっています。

腕時計・バンドとバネ棒イメージ

バネ棒

1951年

株式会社に改組

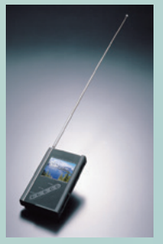
株式会社 横尾製作所
YOKOWO MFG. CO., LTD.

1956年

ロッドアンテナ事業開始
（2003年事業撤退）

パイプの精密加工技術をベースにスムーズな伸縮性を備えたヨコオの高品質なアンテナは、家電メーカーから高く評価され、アンテナ技術は事業の大きな軸となっていきます。

ロッドアンテナ



1957年

車載通信機器事業開始

1950年代に入り自家用車の普及に伴い、自動車用ラジオの需要が発生。これをきっかけに自動車産業に参入し、車載通信機器（現VCCS）事業を開始します。

ピラーアンテナ

AM/FMモーターアンテナ

1959年

スポーツ用品事業開始（1995年事業撤退）

高度経済成長の中、広がるレジャーブームを背景にパイプ技術を生かし、ゴルフクラブ・シャフトの製造販売を開始。金属バットやラケットのシャフトにも展開しました。

ゴルフ用品

1961年

富岡工場開設（群馬県富岡市）

富岡工場

1962年

東京証券取引所 第2部上場

1967年

台湾横尾工業股份有限公司 設立（台湾）
（現 友華科技股份有限公司）

台湾横尾工業（五股郷）

1974年

台湾横尾工業、樹林工業区に移転

台湾横尾工業（樹林）

1978年

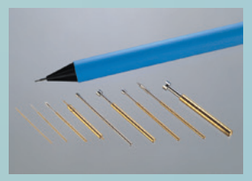
YOKOWO(SINGAPORE)PTE.LTD. 設立（シンガポール）

ヨコオ・シンガポールが入ったビル（当時）

1979年

回路検査用コネクタ事業開始

世界トップレベルの微細精密加工技術とマイクロウェーブ技術を駆使して半導体検査用治具の開発をスタート。現在はますます微細化、高性能化する半導体検査工程に対し、グローバルに提供しています。



コンタクトプローブ

1983年

PCA（パーソナルコミュニケーションアンテナ）事業開始（2014年事業撤退）

ニューメディア元年、パーソナル無線用アンテナの開発に着手しPCA事業がスタート。パーソナル無線用アンテナはNARDIが欧州・国内向けコードレスフォンや携帯電話用として事業推進し、NARDⅡは衛星放送受信用ODUの開発に取り組み、MICO事業へと発展していきます。

セルラー電話用アンテナ

無線通信機用アンテナ

1983年

MICO（マイクロウェーブコンポーネント事業）開始
（2002年車載通信機器事業に移管）

衛星放送サービスの実用化に向け、アンテナ製造で培った技術を生かし、家庭用受信機と呼ぶにふさわしいコンパクトで高性能なLNC（ローノイズコンバーター）を開発。これを機にメカからエレクトロニクスへ、ヨコオの事業が大きく飛躍していきます。

LNC
（ローノイズコンバーター）

1984年

富岡工場の拡充

1986年

ファインコネクタ事業開始

創業の製品であるバネ棒の新たな可能性を模索している中、小型ラジオのイヤホンの信号接点として採用されることになります。当初ピン単体での供給から、生産ラインでの組み立てやすさを狙い、樹脂ホルダー入りのユニットの開発、導通性、めっき仕様、小型樹脂成型などのバリエーションを増やし、FC（ファインコネクタ）事業部として事業を大きくしていきます。

スプリング
コネクタ

1987年

YOKOWO ELECTRONICS (M)SDN. BHD. 設立（マレーシア）

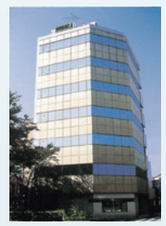
NHK BS放送開始に合わせ、各種受信用機器のOEM供給を開始

日本で衛星放送が開始される際に、NHK系列で全面採用され、国内の衛星放送の黎明期をリードしました。

衛星放送受信用
アンテナ

1989年

東京本社、新社屋完成
（東京都北区）



1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980

価値創造の軌跡

ヨコオの歩み

1990年
社名を株式会社ヨコオに変更

1994年
東莞友華電子有限公司 設立
（中国・広東省）
（2017年友華汽車と合併）

1995年
東莞友華汽車配件有限公司
設立（中国・広東省）

1999年
東莞友華通信配件有限公司
設立（中国・広東省）

YOKOWO EUROPE LTD.
ロンドンへ移転
（イギリス・ロンドン）

2001年
東京証券取引所第1部上場

2002年
YOKOWO
MANUFACTURING OF
AMERICA LLC 設立
（米国・オハイオ州）

YOKOWO KOREA CO., LTD.
設立（韓国）

2005年
友華貿易（香港）有限公司
設立（香港）

2007年
先端デバイスセンター 開設
（2019年合弁会社化）

先端デバイスセンター

2008年
ジェネシス・テクノロジー株
式会社よりプローブカード事
業譲り受け

MEMS開発センター 開設

2011年
YOKOWO VIETNAM CO., LTD. 設立
（ベトナム）

2012年
ISO13485認証取得

2014年
ISO27001認証取得

2016年
OHSAS18001認証取得
（2020年にISO45001に移行）

2018年
富岡工場にAMTセンター 開設

2019年
異材質の金属を接合する独自技術
「SmartWeld®」を商標化

合弁会社 LTCCマテリアルズ株式会社
設立

2020年
YOKOWO EUROPE GmbH 設立
（ドイツ）

合弁会社 Lumax Yokowo
Technologies Pvt. Ltd. 設立（インド）

YOKOWO MANUFACTURING OF
THE PHILIPPINES, INC. 設立
（フィリピン）

2021年
JR神田万世橋ビル
（東京都千代田区）に
本社を移転

2022年
東京証券取引所の市場区分再編により
プライム市場に移行

株式会社ヨコオみらいサポート 設立
（2023年3月特例子会社認定取得）

YOKOWO ELECTRONICS VIETNAM
CO., LTD.設立（ベトナム）

創業100周年

100th ANNIVERSARY

2023年
富岡工場にMicro Process R&D
Center（MPセンター）開設

2025年
株式会社光波の
ネットワークソリューション事業を
会社分割の方法で承継

1990 2000 2010 2020

ヨコオのものづくり

1992年
**セラミックパッチタイプの
小型GPSアンテナを開発**

小型GPSアンテナ

1996年
**世界初の「マイクロアンテナ」
（車載AM/FMラジオ用）を開発**
世界に先駆けて開発したマイク
ロアンテナは、それまで機構部
品であった車載ラジオ用アンテ
ナを電子部品化した、革新的な
新製品でした。アンテナ長の大
幅な短縮を実現し、その後幅広
い自動車に搭載されました。

マイクロアンテナ

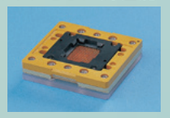
1996年
マイクロウェーブセラミックス事業開始
GPSやVICS（道路交通情報通信シス
テム）のキーパーツであるセラミック
製パッチアンテナは、当初外部から購
入していました。しかし、技術開発型
企業としてのヨコオをさらに強力にす
るため、新たな要素技術を取り入れ、
1996年に完全内製化を果たします。

セラミックアンテナ

1997年
**BGA検査用ソケットを開発し、
半導体検査市場に本格進出**
スプリングプローブを活用したBGA検
査ソケットを開発。垂直コンタクトで
0.5mmピッチ対応を実現させ、高密度、
高周波に対応しながら、着脱の簡易化
も実現しており、機
械特性・電気特性
の両面から高い評価
を得て、米国市場の
大手半導体メーカー
に採用されます。

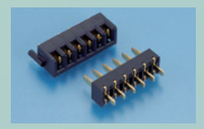
BGA検査用ソケット

2002年
**高周波検査向けに業界初の
ハイギガソケットを発売**
高周波化の流れを捉えるべくCTC事業が
開発したハイギガソケットは、近年の半
導体デバイスの高周波化、検査の高速
化で需要が急増しており、さらに高性能
化した当社製品は、
世界の名だたる半
導体メーカーの5G
向け半導体のテスト
を支えています。



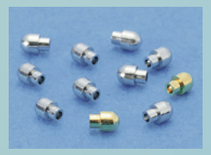
ハイギガソケット

2005年
**ツーピースブレードコネクタを開発し、
ハンディーターミナル市場へ本格参入**
ツーピースブレードコネクタは、コネクタ
のレセプタクル側に、ヨコオ独自のフロー
ティング構造を採用することで、振動や
衝撃を受けても嵌合ズレを吸収し、安定
した接続を維持します。高い耐衝撃性能、
耐振動性能が、ハードな現場で使用され
るハンディーターミナル製品に採用され、
本格参入を果たします。



ツーピースブレード
コネクタ

2006年
MD（メディカル・デバイス）事業開始
ヨコオが保有する微細精密加工技術を
生かし、医療機器用製品ビジネスに参
入を開始。患者に負担の少ない低侵
襲医療で使われる、カテーテル用部品
の製造など、ヨコオのコア技術を生か
し、医療機器業界の発展に貢献してい
きます。



カテーテル先端部

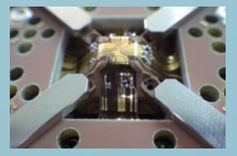
2011年
医療用ガイドワイヤーのOEMを開始
コアワイヤーと金属製コイルを接合した
「ガイドワイヤーユニット」のOEM供給
を開始。顧客の仕様に基づいた開発・
評価用試作、量産対応が可能で、富岡
工場のクリーンルーム内で製造し、供
給します。

医療用ガイドワイヤー

2011年
「シャークフィンアンテナ」を開発
米国市場で納入に続き、国内の
用品市場向けにも発売。従来アン
テナと同等の受信性能を持ちなが
ら、高さを63mmに抑え、樹脂部
品の大幅な採用拡大による軽量化
で、燃費向上にも貢献しました。

シャークフィン
アンテナ

2013年
「YPXシリーズ」を製品化
高周波デバイスの半導体ウエハ検
査市場向けに、MEMS技術を用
い高周波デバイス検査用プローブ
カード「YPXシリーズ」を製品化。



YPXシリーズ

2019年
MaaS向け事業へ進出し、鍵開閉システムを提供
クラウドを活用した運用サービスの構築を進
め、車両に搭載する車載器と、制御サーバー
を含めたシステムを開発し、スマートフォンで
車の鍵を開閉するシステムを開発しました。機
器販売に加え、運用サー
ビスから安定的な収益
を得る「サブスクリプショ
ンビジネス」のベース構
築を目指しました。

鍵開閉システム（車載器）

2021年
5G通信対応、フルシールド高周波ソケットを開発
半導体の後工程検査で使
用する検査用ソケットと
して、ヨコオとして初めて
「5G通信（28GHz帯）対応
0.4mmピッチ、フルシールド
高周波ソケット」を開発。

フルシールド高周波
ソケット

2024年
世界最小のスプリングコネクタを開発
直径わずか0.35mmの「世界
最小スプリングコネクタ」を開
発。スプリングコネクタが持
つ簡易着脱に対する利点を維
持しながら、これまで以上の
省スペースを実現することで、
顧客の自由な設計に貢献でき
る製品です。

直径0.35mmのスプリングコネクタ